

防災公園街区整備事業とは

大洲防災公園は防災公園街区整備事業により整備されました。この事業は、地震災害等に対して被害が予想される既成市街地において、市街地の整備改善と一体となった防災公園を整備することにより、都市の全体的な防災機能を図ることを目的として、平成11年度に創設されました。

地方公共団体の要請を受け、都市基盤整備公団が工場跡地等の大規模な土地を取得し、地方公共団体に成り代わって直接施行で整備し、竣工後、地方公共団体に引渡します。



大洲防災公園の整備の経緯

- 平成11年11月 防災公園街区整備事業創設
平成12年 2月 市川市大洲一丁目地区防災公園街区整備事業がスタート
平成12年 3月 明治乳業(株)市川工場が移転
平成12年 7月 土地売買契約
平成12年11月 住民による整備検討会が発足
平成13年11月 都市計画決定
平成14年 2月 都市公園事業承認
平成14年11月 着工
平成16年 3月 竣工
平成16年 4月 11日開園



大洲防災公園の位置と周辺の避難場所



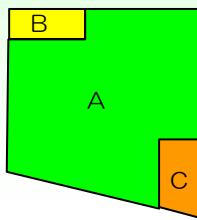
大洲防災公園は一時避難場所です。万一、周囲で大火災が発生した場合は広域避難場所である江戸川河川緑地に避難して下さい。

お問い合わせ先

市川市役所 水と緑の部 公園緑地課 TEL 047-712-6367 FAX 047-712-6365
住所：〒272-8501 千葉県市川市南八幡2-20-2

事業規模等

全体整備面積：約3.5ha
A公園面積：約2.8ha
B戸建住宅面積：約0.5ha
C急病診等面積：約0.2ha



■公園施設
多目的広場 ピクニック広場
中央広場 流れ 池
防災関連施設 等
(本パンフレットの中頁参照)

■戸建住宅
■市川市整備施設
消防出張所
急病診療所
在宅介護支援センター
ファミリーサポートセンター
ボランティアセンター
老人デイサービスセンター
身体障害者地域生活支援センター

大洲防災公園



市 川 市

大洲防災公園の機能

平時は、憩いやレクリエーションの場として、また、災害時は、一時避難場所や被災の前線における救援拠点や輸送の中継拠点として機能します。1万人の避難者に対して3日間分の飲料水が確保されています。

一大洲防災公園の機能一

■災害時

- ①避難（一時避難）
- ②災害の防止と軽減等
- ③情報の収集と伝達
- ④消防・救援・医療・救護活動の支援
- ⑤一時的な避難生活の支援
- ⑥防疫・清掃活動の支援
- ⑦復旧活動の支援
- ⑧各種輸送活動のための支援

■平常時

- ①レクリエーション
- ②憩い・癒し（リラクゼーション）
- ③交流（コミュニケーション）
- ④健康の維持増進
- ⑤良好な都市景観形成

主な防災関連施設

避難広場（ヘリポートとしても活用可能）

管理事務所兼備蓄倉庫

（延床面積 526 m²うち管理事務所 192 m²）

耐震性飲料用貯水槽 100ト

防火水槽 40ト／基 2基

非常用便槽 25ト／基 20ト／基
(上部にブースを組み立てる方式)

物資積下し場

自家発電機 1基

風力・太陽光発電装置付照明灯 2基

太陽光発電装置付照明灯 5基

防火樹林帯 幅 10-15m

防災サイン 等

計画平面図



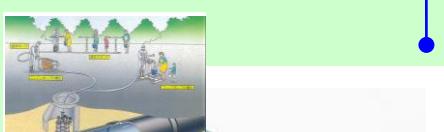
避難と救援の拠点として くらしの安全 安心を支える 憩いと交流の公園



防火樹林帯 耐火性の強い常緑広葉樹
主体で構成し、輻射熱を軽減します。



非常用便槽 25ト／基 20ト／基
1基 ブースを組み立てて利用



耐震性飲料用貯水槽 水道管直結方式
100ト 1人1日3㍑ 1万人3日分



テントが張れるパーゴラ 災害時の避難や活動の拠点として活用



物資積下し場 大型車両が進入可能 物資輸送の中継拠点



公園事務所兼備蓄倉庫 事務所は災害時に多目的な活用が可能



釜戸になるベンチ いざとなればここで炊出し

災害時の公園利用形態の変化

防災公園の機能は時間とともに変化します

平常時



発災直後



発災後3日以降

